

この度は当社商品をお買い上げ頂き有難うございます。
本書は製品を正しくご使用頂く使い方・製品説明及び注意事項を記載して
おります。必ず本書をお読みになってから製品の取付作業、ご利用を行って
下さい。

本製品は精密機器です。本製品の落下、強い衝撃、静電気を与えないように作業
して下さい。

警告 下記記載の内容をお守り下さい。お守り頂かないと
火災・感電・故障・怪我の原因となります。

本製品に触れる前に身体の静電気を取り除いて下さい。静電気が発生しにくい
衣類を身につけて作業を行って下さい。本製品を接続する前に必ずパソコン
データのバックアップを行って下さい。

パソコンの内部に部品を取り付ける場合は、パソコンの電源及び周辺機器
の電源をOFFにしてから取付作業を行って下さい。

■下記のような場所での使用を必ず避けて下さい。
強い磁気の影響を受ける場所/静電気が発生する場所/振動を受ける場所/火気
周辺、高温多湿、結露が発生する場所/直射日光を受ける場所/平らではない場所
/漏電・漏水の可能性のある場所/電子機器の影響があつてはならない場所
(病院等)/その他、常識では考えられない場所での使用はお止め下さい。

パソコンご使用直後はパソコン内部に触れないで下さい。パソコン内部に
は高温になる部分があり、冷めるまでお待ち下さい。

本製品の故障又はその使用上生じた他製品の破損・損害及びデータ破損につ
きましては一切の責任を負いません。必ず付属ケーブルに異常がないかを確認
頂くと共にデータバックアップを行って下さい。

液体・異物が入らないように注意して下さい。また、本製品を高温・多湿の場
所で使用しないで下さい。

本製品を取り付ける場合は、本書とそれら取付けるパソコン及び周辺機器
の取扱説明書を合わせてご確認ください。

特定の機器でのみ発生する不具合につきましては保証対象外となります。
本製品を廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って廃棄して下さい。
最新情報は当社製品サイトにて更新情報があり次第、ご案内していく予定です。

異臭・異音がする場合はただちに使用を止め、当社までお問合せ下さい。

※取付時はパソコンの電源をOFFにし、内部温度が冷めてから取付を行って下さい。

目次

製品詳細 page 2

パソコン本体に接続 page 3

ポート設定 (Jumper ピン設定) page 5

SATA3.0 ドライバインストール page 7

RAID 構築設定 page 11

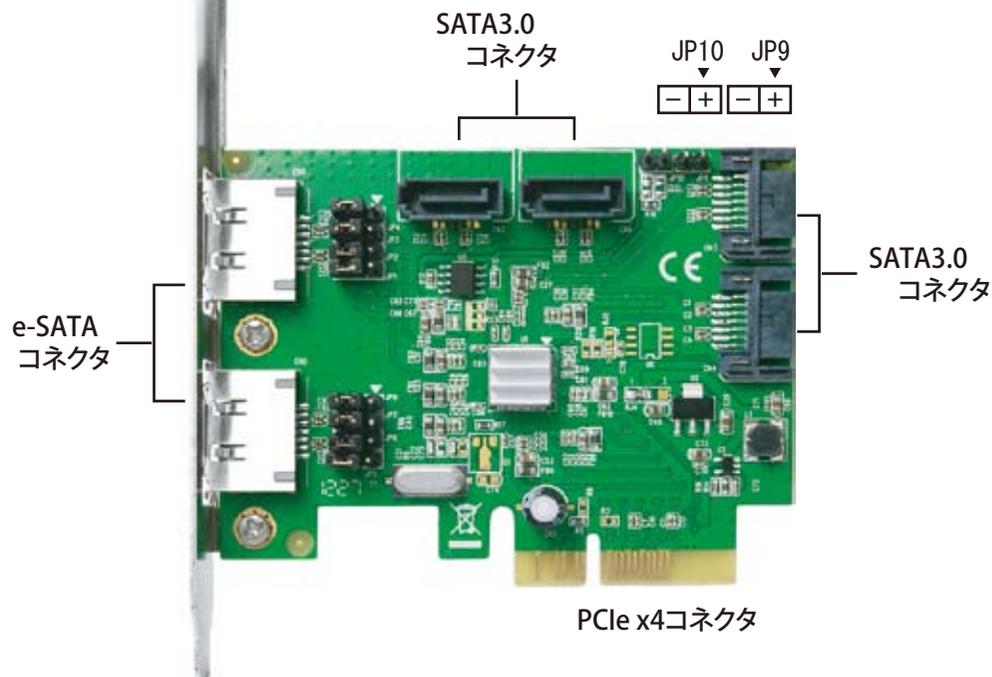
Hyper Duo 構築設定 page 15

※RAID / Hyper Duo の構築は OS インストール前に行ってください。

HDD / SSD フォーマット方法 page 25

製品詳細

■LEDピンヘッダー
JP9はパソコンケースの
フロントパネルのHDDLEDに繋がります。
JP10はマザーボードの
HDDLEDコネクタに接続します。



商品スペック

製品名	TTH Quattro
製品型番	SD-PE4SA3ES4L
接続スロット	PCI Express x4
インターフェース	SATA3.0 [4ポート] eSATA 2ポート ※合計同時使用最大 4 ポート
搭載チップ	Marvel 88SE9230
転送速度	SATA3.0準拠 (6Gbps 理論値)
対応OS	Windows 8 / 7 (各32,64bit 対応)
サイズ / 質量	約69×90mm / 50g
付属品	●ボード本体 ●ロープロファイルブラケット ●ドライバ収録CD (12cmサイズ) ●アクセスLED2pin延長ケーブル ●取扱説明書 ●製品保証書

※注意点



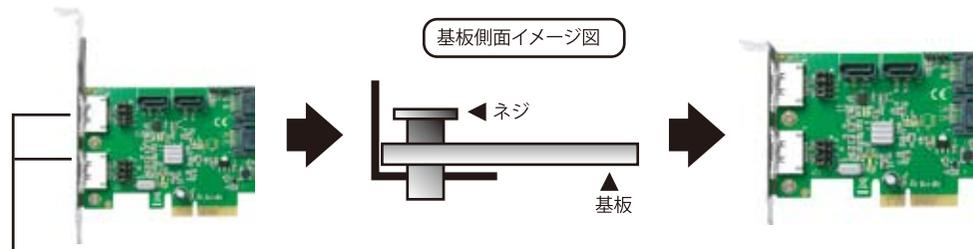
SATA コネクタには向きがございます
のでケーブル挿し込み時には
ご確認の上、挿し込んで下さい。

*搭載コントローラ番号は予告無しに変更する場合がございます

■ロープロファイル型パソコンに取り付ける場合ブラケットの交換を行って下さい。

※プラスドライバは別途ご用意下さい。

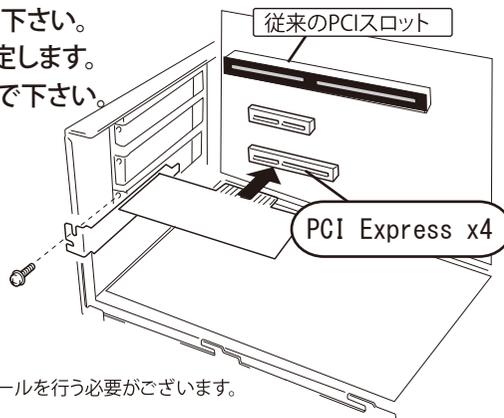
※取付作業を行う場合は、静電気防止、水分の無い場所で行って下さい。



2箇所のネジを外して下さい。先程取り外したネジと付属のブラケットを取り付けて完成です。

【本製品をパソコン本体に接続する】

- 1.本製品を接続するパソコン及びパソコンに接続している周辺機器の電源をOFFに(パソコン本体をOFFにします。)します。
- 2.パソコン本体に接続しているケーブルを取り外します。
- 3.パソコン本体のカバーを取り外します。カバーの取り外し方は各メーカーにより異なります。必ずご使用のパソコンメーカーの取扱説明書をご参照下さい。
- 4.本製品をPCI Express x4スロット部分とケースのブラケット部分の位置を確認し、ケース側のブラケットを取り外します。
- 5.PCI Express x4スロットに本製品を差し込みます。
※PCI Express スロットには向きがございませぬ。
溝の部分に合わせて平行に奥まで差し込んで下さい。
- 6.差込後、本製品とケース側をネジを用いて固定します。
- 7.補助電源コネクタに電源ケーブルを差し込んで下さい。
- 8.3で外したケースカバーを元に戻します。
- 9.2で取り外したケーブル類を戻します。



以上で接続は完了となります。

図のスロットの位置は例です。
スロット位置に関してはマザーボードにより異なります。

本製品はパソコンの電源ON後、各OSでそれぞれドライバインストールを行う必要がございませぬ。

※従来のPCIスロット、PCI Express x1スロットには接続できません。
PCI Express x4 / x8 / x16には接続可能です。

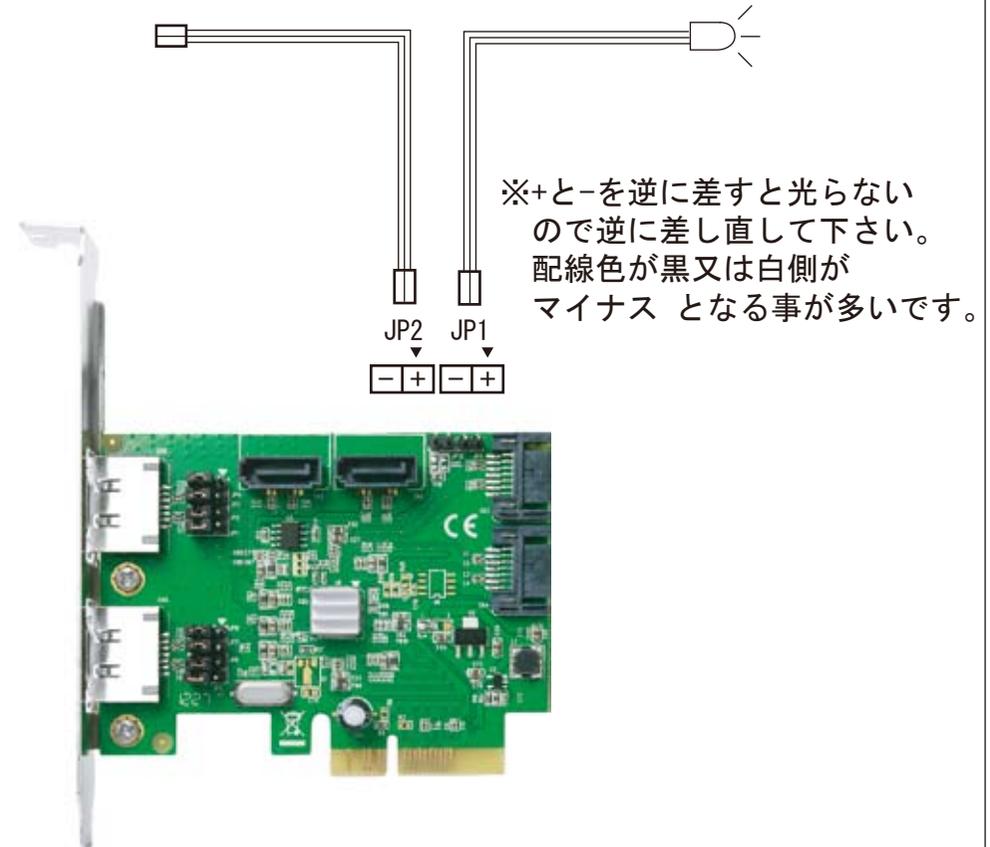
注意

本製品を使用中に異臭 / 異音がする場合、すぐに使用をやめて、購入店及び、当社サポートセンターにお問合わせ下さい。

■LED用pinヘッダー接続方法

マザーボードLEDアクセスpinへ
(付属の延長ケーブルを使用)

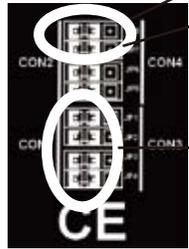
パソコンケースLED側
(すでにマザーボードに接続して
いる際は抜いてカード側に接続して下さい。)



図のように接続して頂く事により本製品に接続したHDD/SSDにアクセスした際もLEDが点滅するようになります。

各ポジションの対応表 (ジャンパーピンの切替はPC接続前に行ってください。)

※図の説明



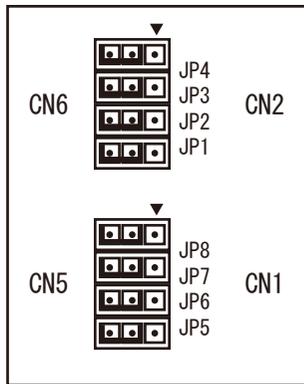
ジャンパーピンです。
必ず横に装着して下さい。



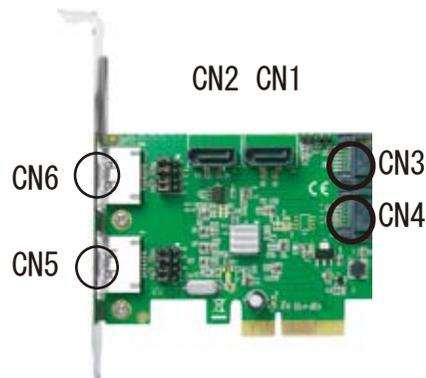
4つのジャンパーピンで一つのセットとなり、
左の図の場合、「CON 1 / CON2」のポートが
使用できます。

パターン「A」

CN1	×
CN2	×
CN5	○
CN6	○

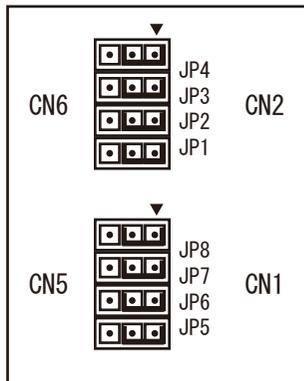


eSATA 2 ポート (CN6 / CN5)

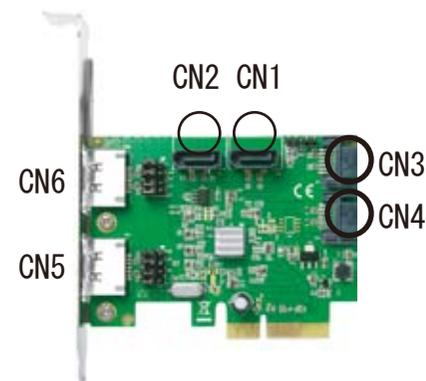


パターン「B」

CN1	○
CN2	○
CN5	×
CN6	×

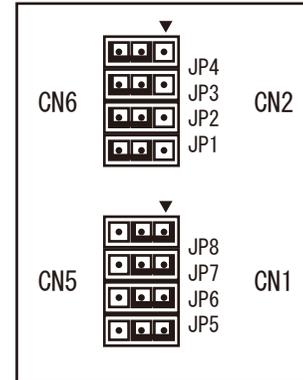


SATA 2 ポート (CN6 / CN5)

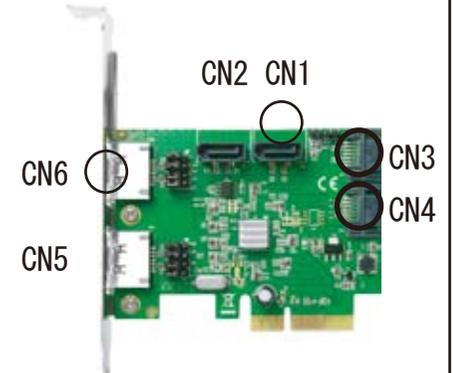


パターン「C」

CN1	○
CN2	×
CN5	×
CN6	○

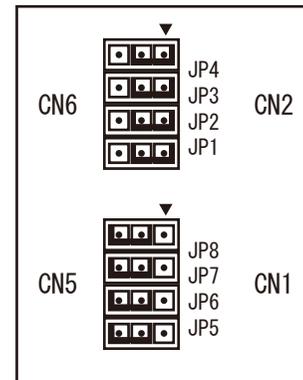


eSATA (CN6) + SATA (CN1)

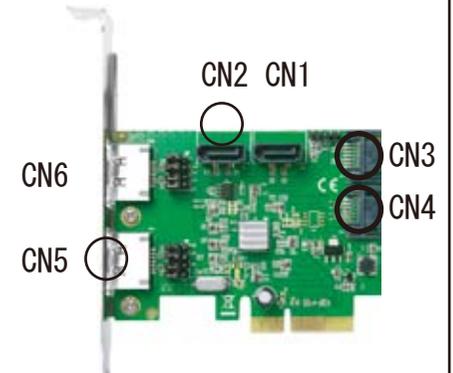


パターン「D」

CN1	×
CN2	○
CN5	○
CN6	×



eSATA (CN5) + SATA (CN2)



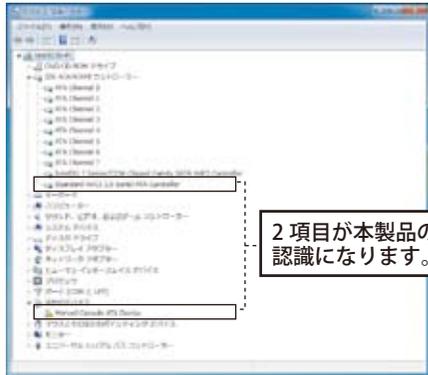
【排他処理に関して】

ジャンパーピン4つが1セットとなり、CN6 or CN2 / CN5 or CN1 にセットされている必要がある為、本製品は4パターンとなっています。
CN3 / CN4 は固定となります。

【商品が認識しない場合の対処方法】

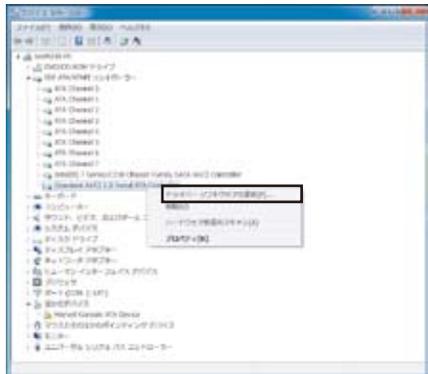
- ・別の PCIe スロットに接続し直す。
- ・ジャンパーピンがまっているか確認する。
- ・SATA/eSATA ケーブルを変更。
- ・ドライバの再インストールをお試し下さい。

Windows7 SP1 / Windows 8 ドライバーインストール

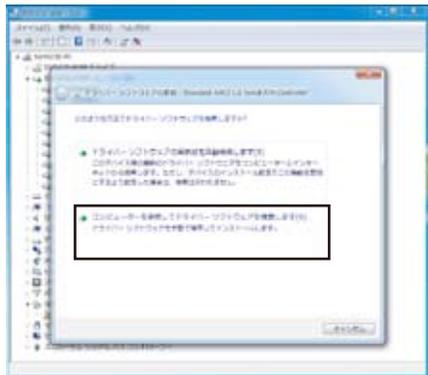


2項目が本製品の認識になります。

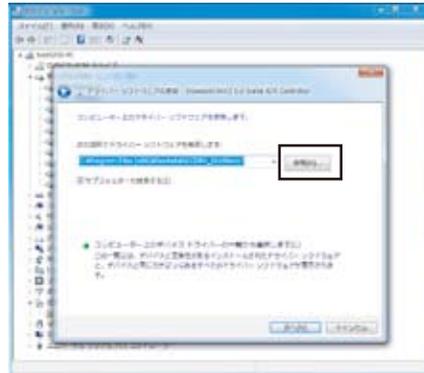
1 / デバイスマネージャーより上記2項目の認識確認をお願い致します。



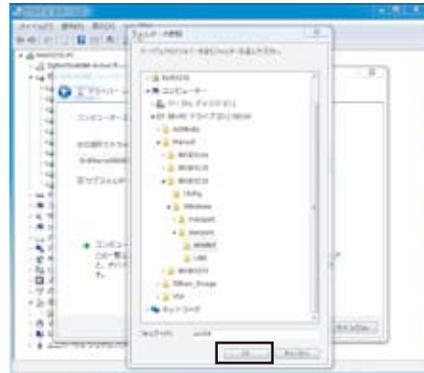
2 / [Standard AHCI 1.0 Serial ATA Controller] を右クリックして表示される項目より [ドライバーソフトウェアの更新] を選択して下さい。



3 / 新しく表示されたウィンドより [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します] を選択して下さい。



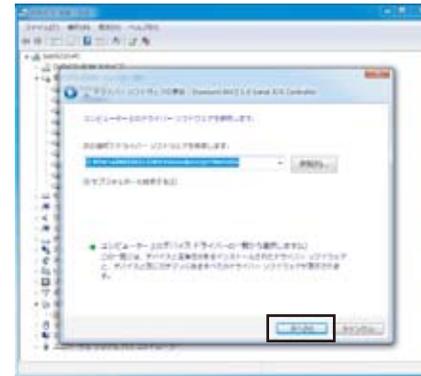
4 / [参照] をクリックして下さい。



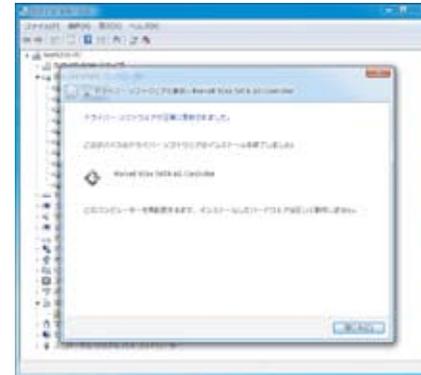
5 / フォルダーの参照より (事前にドライブに付属 CD をセットしておいて下さい。)

光学ドライブ
↓
Marvell
↓
88SE9230
↓
Windows
↓
storport
↓
amd64 (64bit OS をご利用の場合)
又は
i386 (32bit OS をご利用の場合)

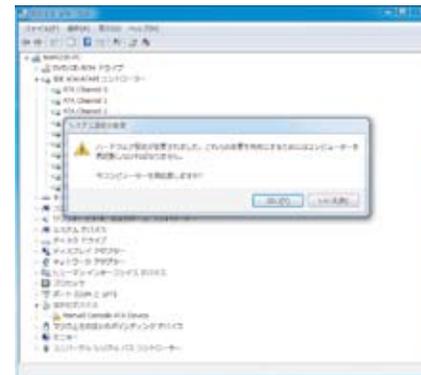
を選択して [OK] をクリックして下さい。



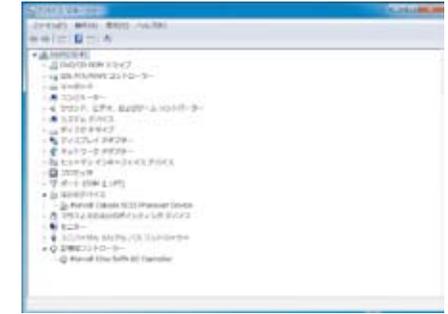
6 / 4 / の画面に戻りますので [次へ] をクリックして下さい。



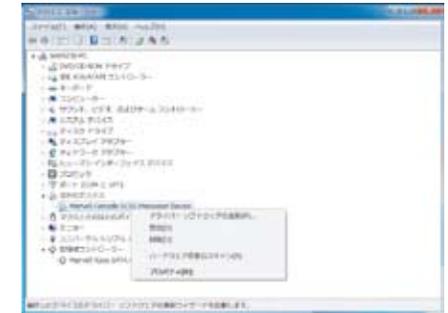
7 / 読み込みが自動的に進みますと上記のような表示になりますので [閉じる] をクリックして下さい。



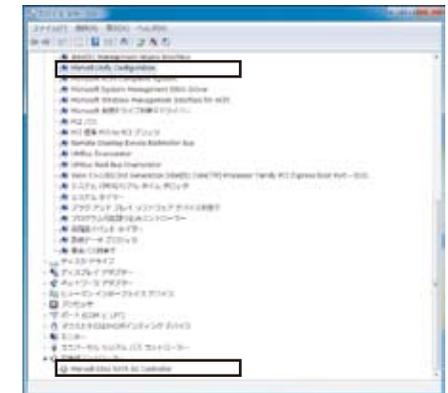
8 / 再起動を促す表示が出ますので [はい] を選択して再起動を行って下さい。



9 / 再度デバイスマネージャーを表示して頂きますと [記憶コントローラー] の項目に [Marvell 92xx SATA 6G Controller] の表示が出来ます。



10 / 次に [Marvell Console SCSI Processor Device] の項目に 2 ~ 8 の同様の手順を再度行って下さい。



11 / すべての作業が終わるとデバイスマネージャー上に下記2項目が表示されます。
[Marvell Unify Configuration]
[Marvell 92xx SATA 6G Controller]
以上で完了です。
※表示はドライバアップデートやOSのバージョンにより変わる事がございます。

※Windows 7 でサービスパック (SP1) 適用前のインストール Disk ですと接続した HDD を見失いインストール出来ない事がございます。
この場合、インストール途中でドライバを組込む作業が必要となります。
USB メモリをご用意頂きドライバ CD より必要ドライバを移しておいて下さい。

(ドライバ位置)

光学ドライブ
↓
Marvell
↓
88SE9230
↓
Windows
↓
storport
↓
amd64 (64bit OS をご利用の場合)
又は
i386 (32bit OS をご利用の場合)

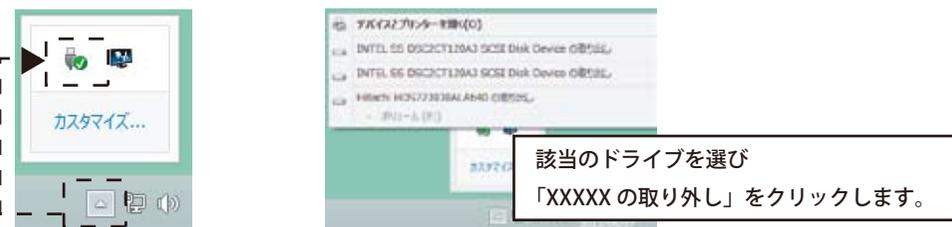
Windows インストール途中でドライバを組みこんで下さい。

ホットプラグに関しまして

本製品はパソコン電源ON時であっても接続のSATA HDD(SSD)の取り外しが出来る「ホットプラグ」対応です。
リムーバブルケースに入れたHDDを電源ON時でも付け替える事が可能となります。
この場合、接続機器すべてがホットプラグに対応している事が条件となります。
※システムがはいっているHDDは取り外し出来ません。

Windows 7 / 8

Windows 画面、右下のアイコンをクリックします。



取外しが可能 / 出来ますのアナウンスが表示されましたら、取り外しが可能になります。

※HDDに接続の電源に関しては、起動中でも取り外せないものもありますのでご注意ください。
パソコン並びにお客様のパソコンによりましても変わりますので詳しくは各取り付け機器の説明書をご参照下さい。

■FAQ

Q.スピードが遅い

A.PCI Express スロットにはGEN1/GEN2がございます。

同じPCI Express x4でもGEN1に接続するとGEN2に比べて半分の転送速度しかでない為スピードの低下を伴います。

※GEN 3 にも接続は出来ませんが、本製品はGEN2仕様カードですのでGEN2までのスピードとなります。(理論値)

※第三世代Core シリーズ以降より前のCPUをご利用の場合はGEN2 x2で認識されない事がございます。

Q.本製品を接続後、パソコンが起動しなくなった。

A.起動ドライブの順位が変わっていないかBIOS(UEFI)にてご確認ください。

設定に関しましてはご使用のパソコン/マザーボードの説明書をご参照下さい。

また、既にOSがインストールされているHDDを本製品に接続されても起動はいたしません。

ブートドライブ対応とは本製品に接続したHDDにOSをインストールして起動する事に対応していますという意味になります。

Q.ドライバインストールが出来ない / 認識されない。

A.別のPCI Express スロットに差し直して下さい。

また、併せて新しいバージョンのドライバがアップされていないか弊社ホームページをご確認ください。

Q.S-ATA HDDのスピードが出ない。

A.S-ATAケーブルをS-ATA3.0対応のものに変更してください。

特にSATA1の時代のケーブルですと認識/転送はご利用頂けますが、速度が出ない場合がございます。

Q.パソコンの起動が遅くなった。

A.はい、本製品を増設した事により本製品の認識と接続機器への認識に時間を必要するようになった為です。

Q.本製品に接続したHDD / SSDへのOSインストールはどうするのか。

A.本製品に接続されたHDD / SSDにOSをインストールする際はインストール時に

Windows7 / 8 が持つ標準ドライバーが適用されます(SATAポートのみ)のでインストール先へ

選択して頂く事によりインストールが可能となります。

OSインストール後にドライバーを入れて頂く事になります。

Q BIOS に入れない。

A ご利用 PC によりましては BIOS 表示がされない仕様の物がございます。

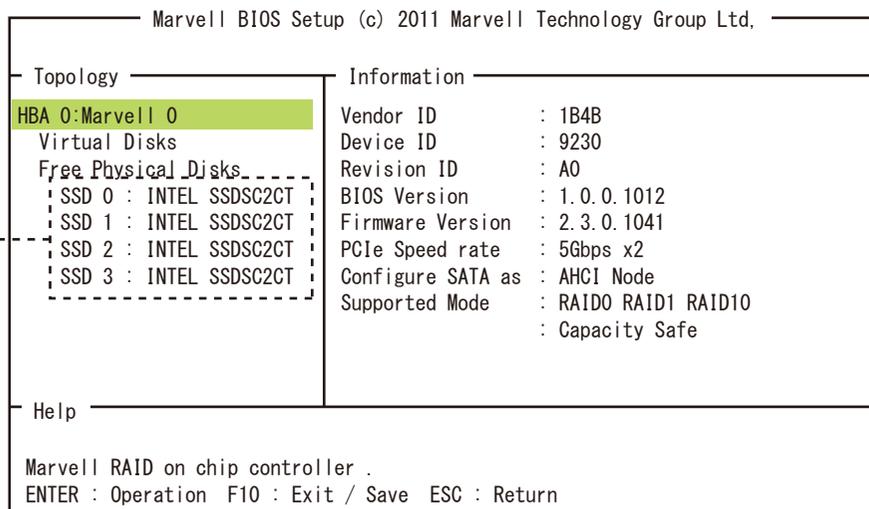
この場合は PC メーカー様にお問合わせ頂き、BIOS 表示が可能かどうか確認下さい。

■ドライバーダウンロードサイトのご案内

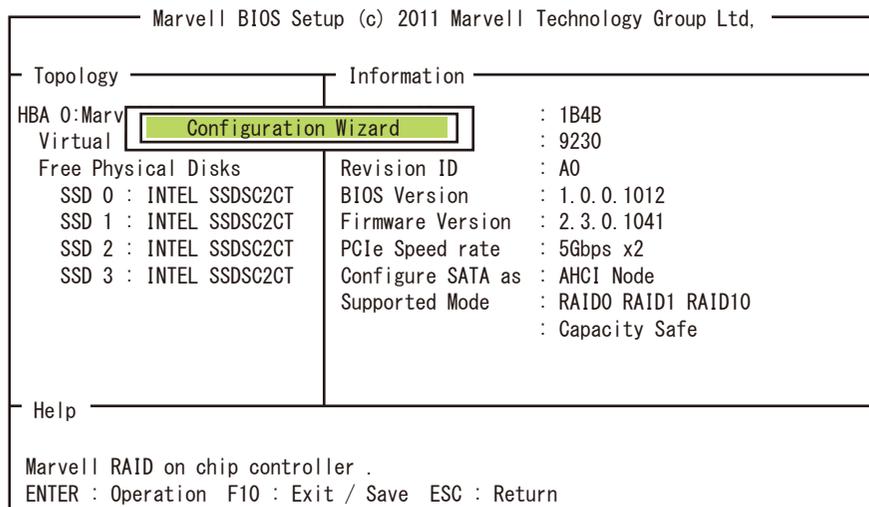
http://www.area-powers.jp/support_info/driver/

■ Raid 0 / 1 / 10 の設定方法

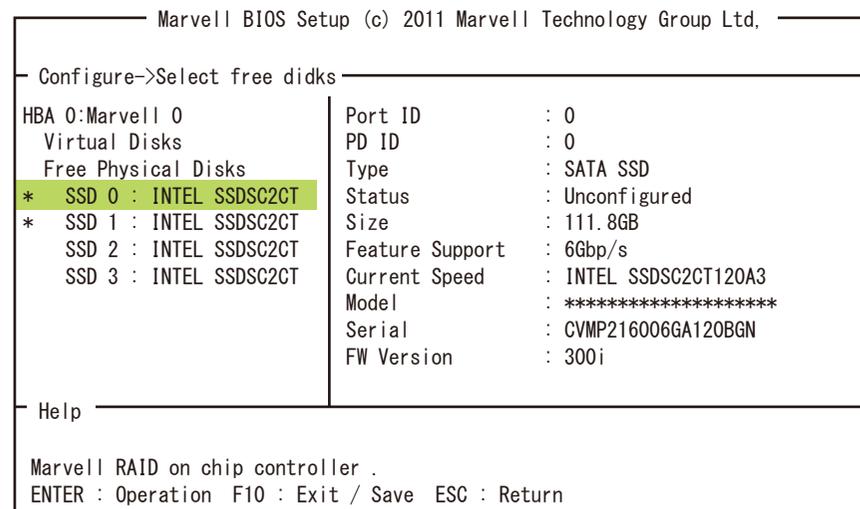
パソコン電源投入後、Windows 起動前に Ctr + M を同時に押して本製品側の BIOS に入ってください。



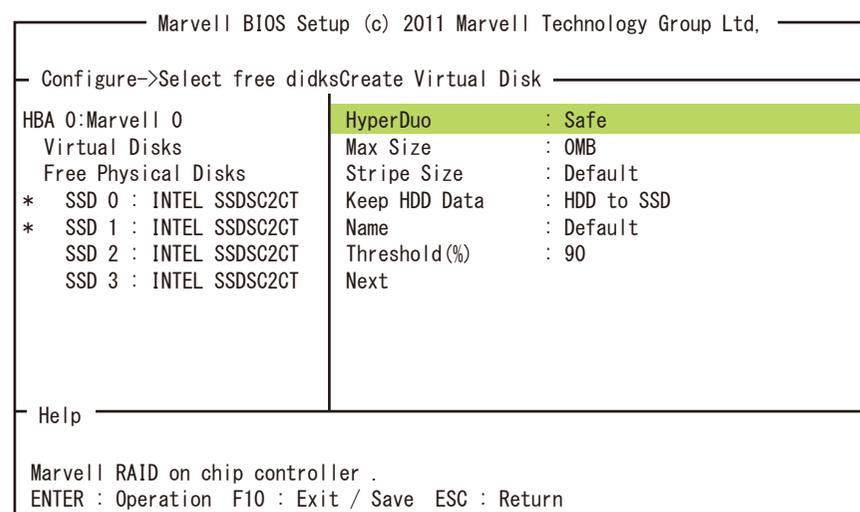
----- 接続している HDD 又は SSD が表示されます。



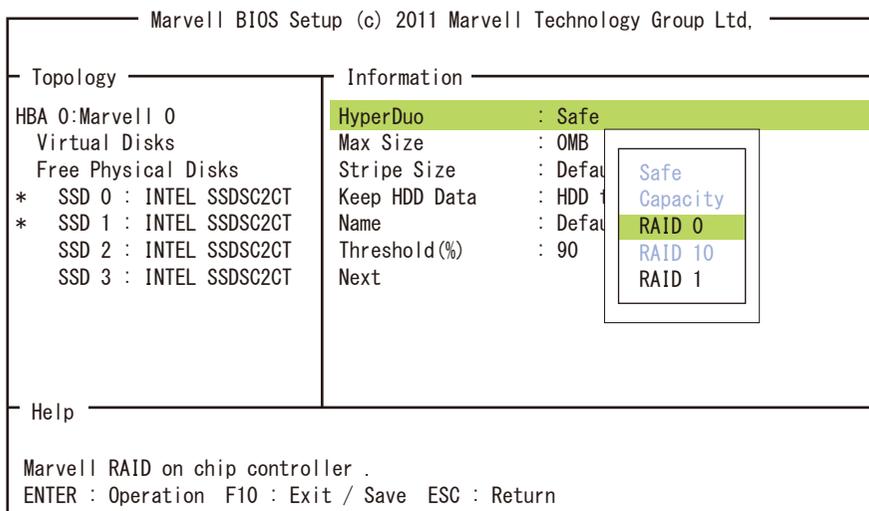
[HBA 0:Marvell 0] の項目で Enter を押して頂くと [Configuration Wizard] が表示されますのでもう一度 Enter を押して下さい。



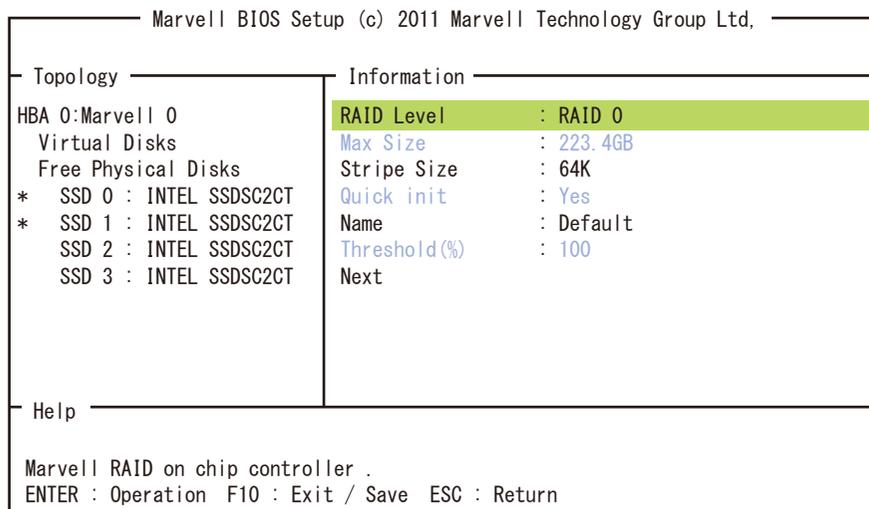
HDD / SSD 覧に移りますので ↑ ↓ で RAID を構築したい HDD / SSD を SPACE を押して選択して下さい。選択しますと HDD / SSD の左側に * マークが表示されます。



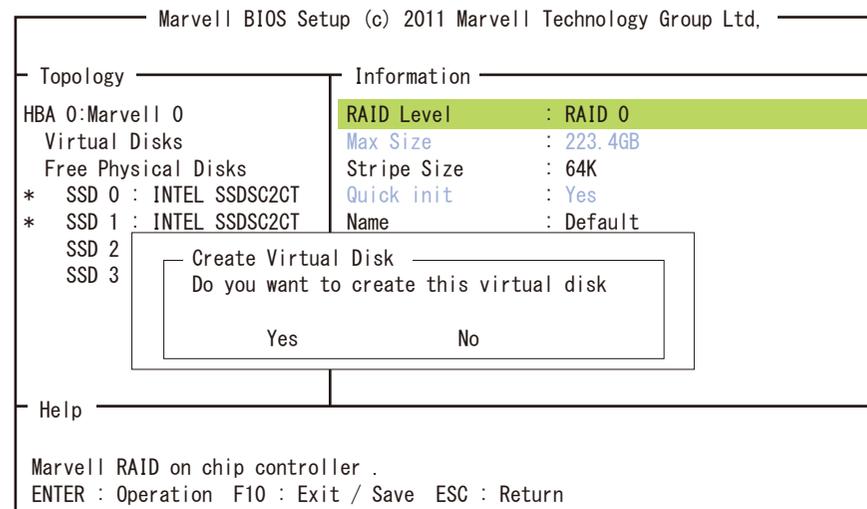
項目が右側へ移ります。



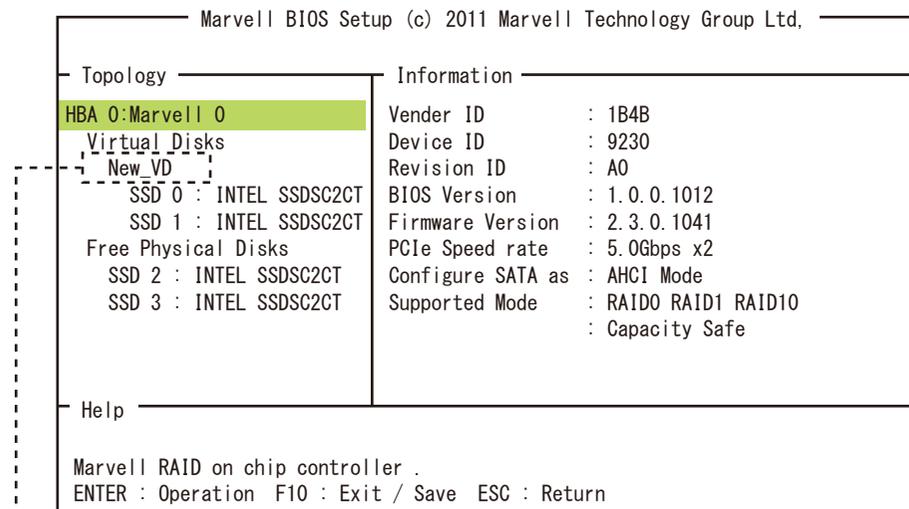
一番上の [Hyper Duo] の表示の箇所 Enter を押して頂くと別表示が現れ、
選択した HDD / SSD で構成出来る RAID のパターンが表示されます。
ここでは例として RAID 0 を選んで Enter を押しています。



↑ ↓ で各項目を設定して下さい。
Stripe Size は 32K / 64K のどちらかをお選び頂けます。
Name は半角英数字で名前を付ける事ができます。
最後に Next にして頂いて Enter を押して下さい。



上記のような表示が出ますので構成に変更がなければ Y キーを押して下さい。



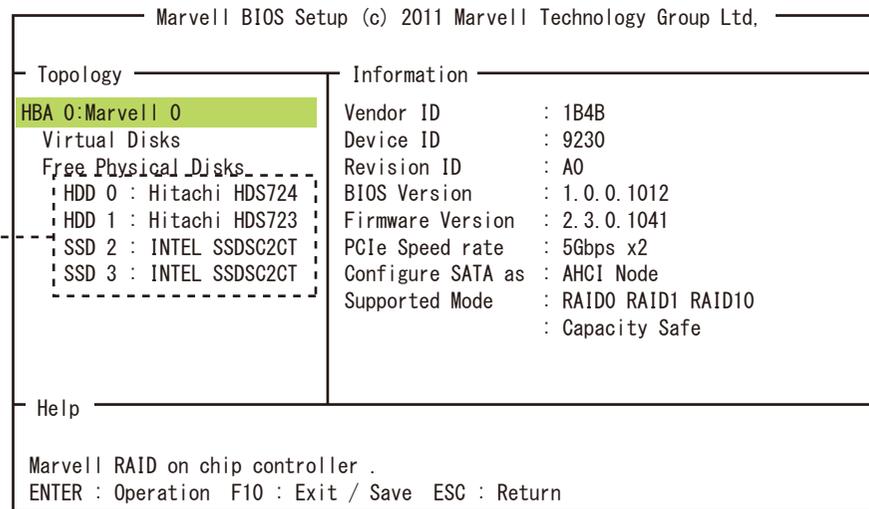
--- Name を変更していると自身で付けた名前に変更されています。

以上で Raid 0 の設定が完了です。

F10 を押してでる表示に従い Y キーを押すと再起動致します。

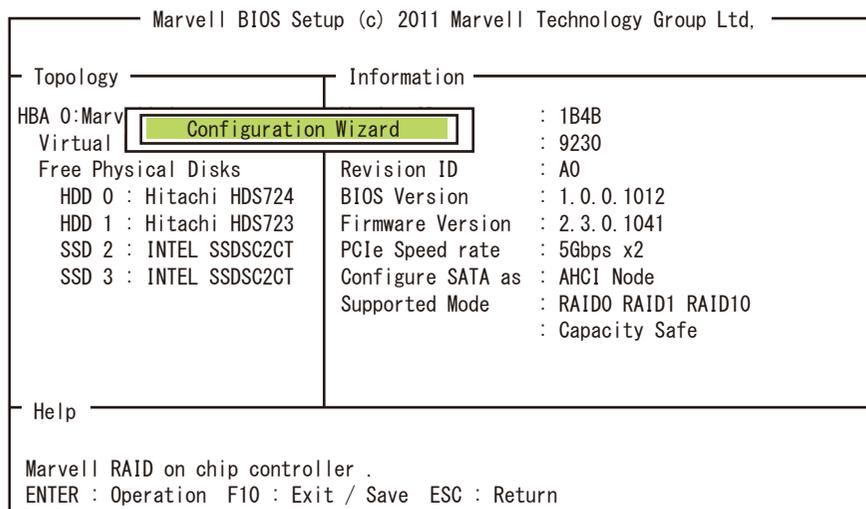
■ Hyper Duo の設定方法

パソコン電源投入後、Windows 起動前に Ctrl + M を同時に押して本製品側の BIOS に入ってください。

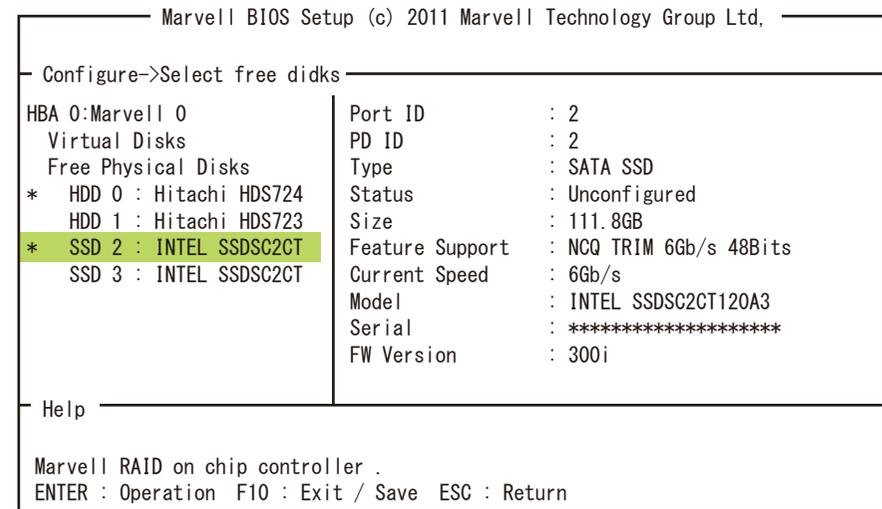


接続している HDD 又は SSD が表示されます。

※CN3 / CN4 に SSD を接続して下さい。

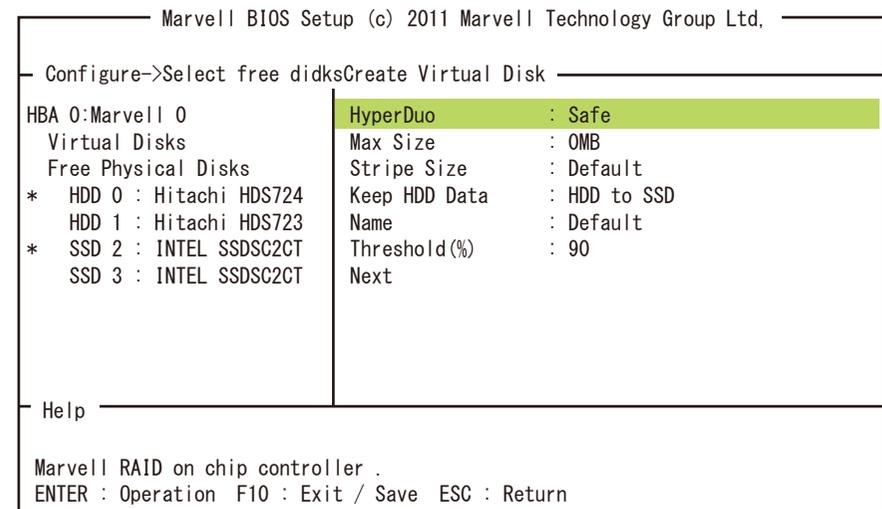


[HBA 0:Marvell 0] の項目で Enter を押して頂くと [Configuration Wizard] が表示されますのでもう一度 Enter を押して下さい。

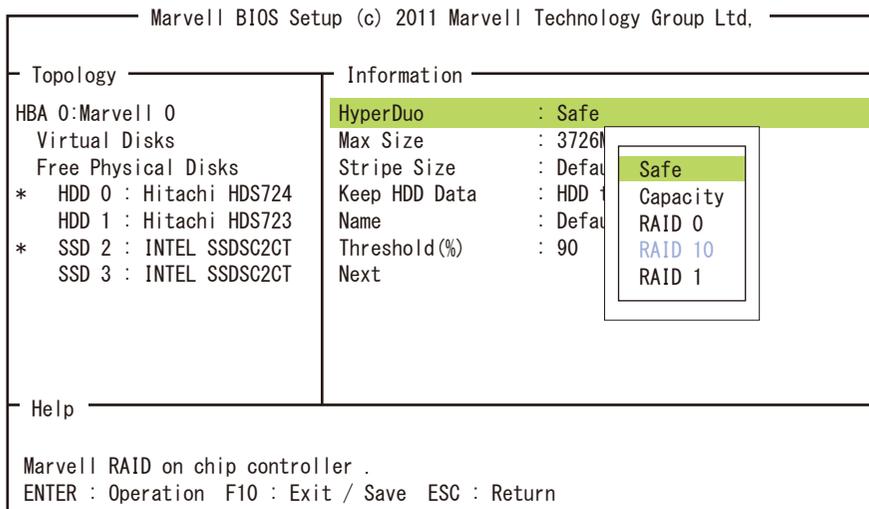


HDD / SSD 覧に移りますので ↑ ↓ で RAID を構築したい HDD / SSD を SPACE を押して選択して下さい。選択しますと HDD / SSD の左側に * マークが表示されます。

※HDD を 2 台や SSD を 2 台で HyperDuo を構成する事は出来ません。



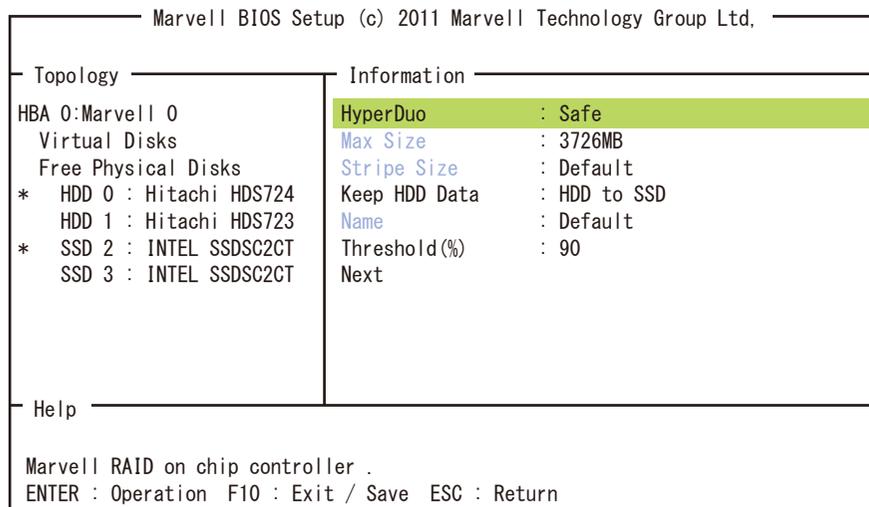
項目が右側へ移ります。



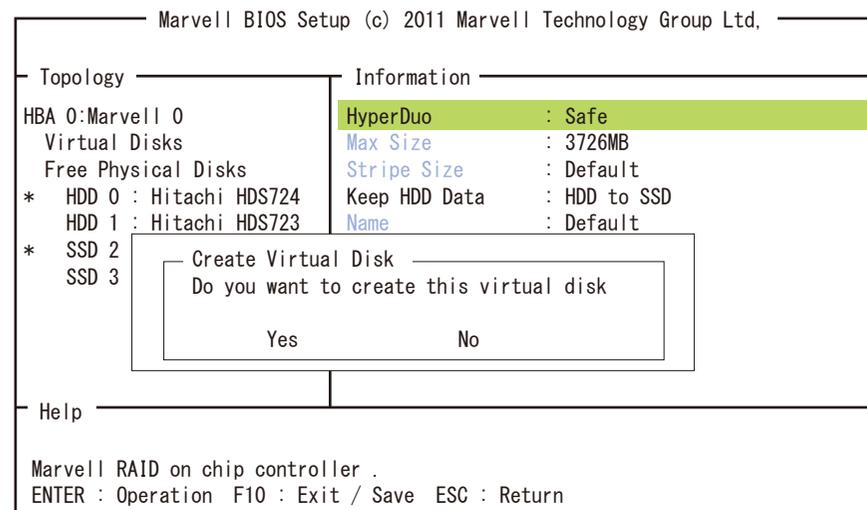
一番上の [Hyper Duo] の表示の箇所で Enter を押して頂くと別表示が現れ、選択した HDD / SSD で構成出来る RAID のパターンが表示されます。ここでは例として Safe を選んで Enter を押しています。

■Safe と Capacity の違い

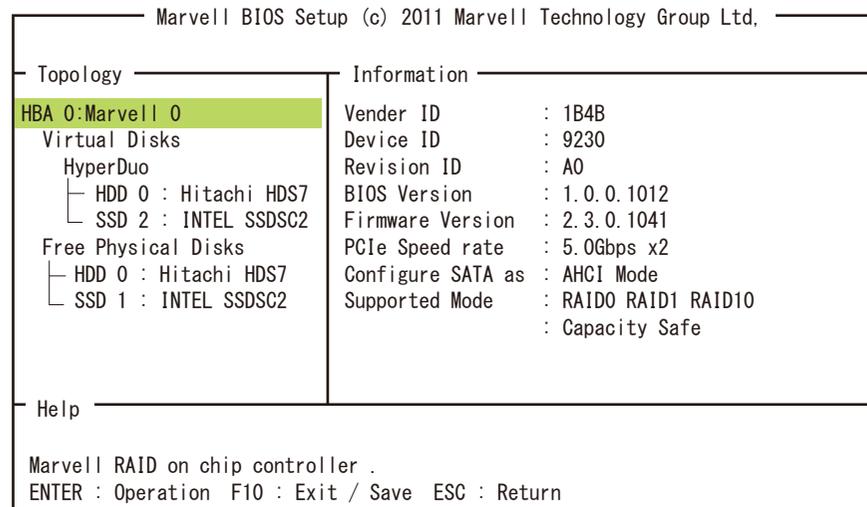
- ・ Safe モードですと頻繁に使用されるデータのコピーを SSD に保存し、以後の読み出し時に SSD から読み出し速度向上が出来ます。
- ・ Capacity モードですと HDD と SSD の合計容量が使える、頻繁に使用されるファイルの読み書きを SSD 部分で行いますので読み込み / 書き込みの速度向上が出来ます。



↑ ↓ で各項目を設定して下さい。
最後に Next にして頂いて Enter を押して下さい。



上記のような表示が出ますので構成に変更がなければ Y キーを押して下さい。



以上で Hyper Duo の設定が完了です。

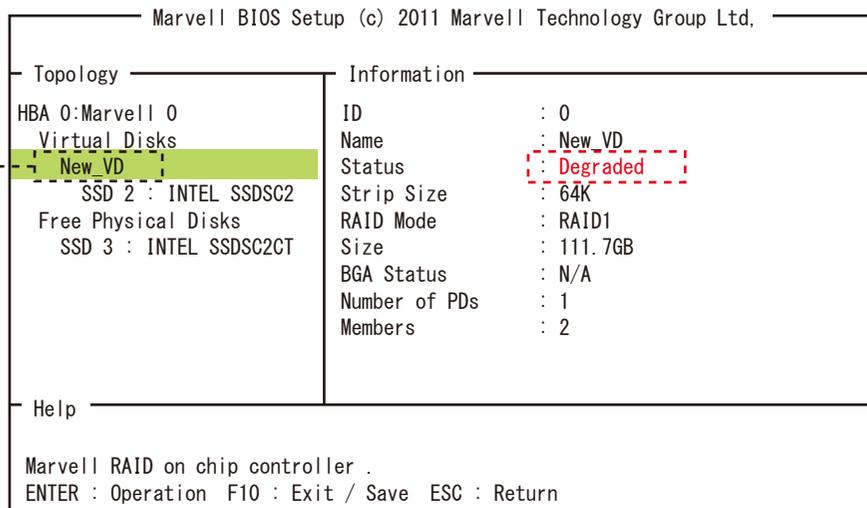
F10 を押してでる表示に従い Y キーを押すと再起動致します。

■ Rebuild の設定方法

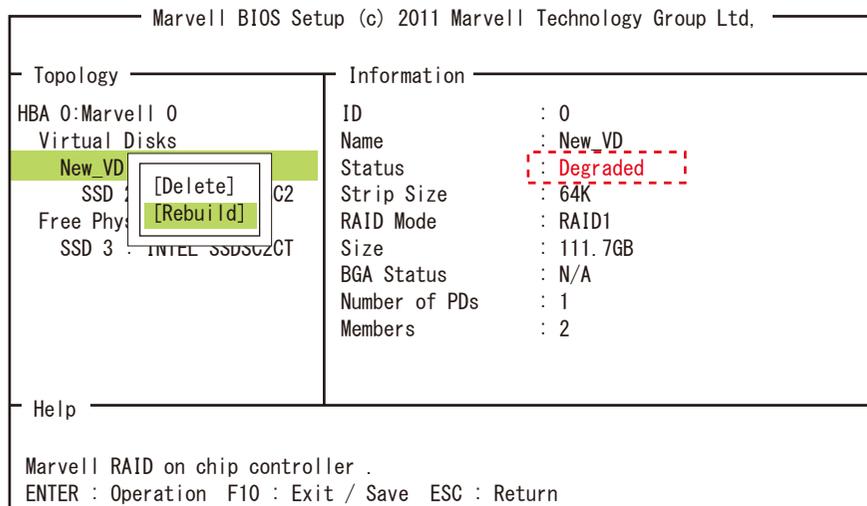
パソコン電源投入後、Windows 起動前に Ctr + M を同時に押して本製品側の BIOS に入って下さい。

予め故障した HDD / SSD のハードウェアの交換を行って下さい。

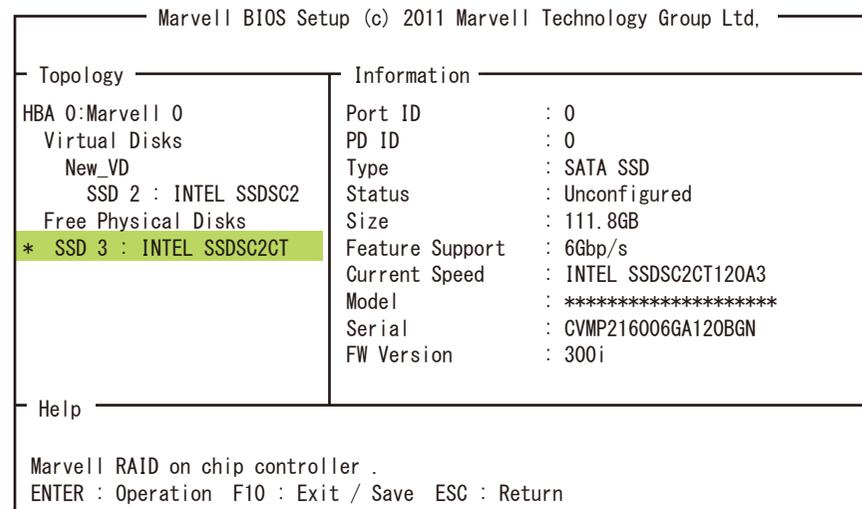
※交換する HDD / SSD は同型番の製品をご使用下さい。



----- Name を変更していると自身で付けた名前に変更されています。
こちらを選択して頂くと Status の項目が Degraded になっています。
ここで Enter キーを押して下さい。



新しく出てくる表示から [Rebuild] を選択し、Enter を押して下さい。



Free Physical Disksの中から Rebuild の対象になる HDD / SSD を ↓ ↑ で選択して頂き
Space キーを押して下さい。

* 印が HDD / SSD の左側に表示されます。

新しく確認の表示が出ますので Y キーを押して頂くと Rebuild の設定が完了します。

【RAID監視ソフトのインストール方法】

※本ソフトウェアはメールサーバーによりましてはご利用頂けない場合がございますのでサポート対象外とさせていただきます。

『RAID 0』or『RAID 1』で運用している場合に本ソフトウェアを使用する事で、HDD/SSDの状況が一目瞭然と判る様になり、本ソフトウェアの機能の一つに、メール設定をする事で、HDD/SSDに問題が起きた場合、登録したアドレスに問題が記載されているメールが届くようになります。

※RAIDのファームウェアにより、画面等、予告無く仕様変更致します。



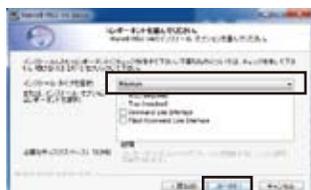
①「Marvell」→「MSU~~」→「Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラーを起動します。
※ファイル名称はアップデートにより予告無く変更場合がございます。



②インストーラーが起動したら、「次へ」をクリックします。



③「~~同意します」をクリックして「次へ」をクリックします。



④「インストールタイプを選択」の右側のウィンドウをクリック→「Full」をクリックして「次へ」をクリックします。



⑤「インストール」をクリックします。
※インストール先のフォルダは特別な事情が無い限り、変更しないで下さい。



⑥セキュリティの警告画面が出ましたら、「プライベート~~」をクリックして「アクセス許可する」をクリックします。



⑦セットアップが完了しましたら、「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。



⑧「スタート」をクリック「シャットダウン」をクリックして、パソコンを手動で再起動します。
以上でインストールが完了となります。

【監視ソフト使用方法】

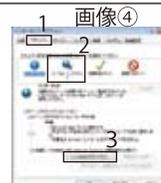
ソフトウェアの使用方法、メールの設定方法と、画面の見方(インターネットブラウザを使用する為、IE(インターネットエクスプローラー)をメインに記載します。



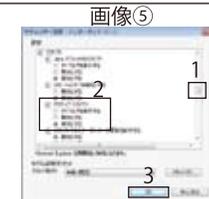
①デスクトップに表示されている「画像①」のショートカットをダブルクリック、もしくは「画像②」のは常駐アイコン内の1を右クリックポップアップウィンドウが開きましたら、「2」をクリックします。



②ブラウザが開いたら、「画像③」の1「ツール」をクリック→「インターネット」をクリック→「インターネットオプション」をクリックします。



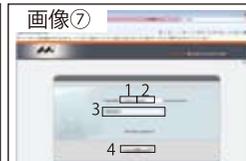
③「画像④」1「セキュリティ」をクリック→2「ローカルイントラネット」をクリック→3「レベルのカスタマイズ」をクリックします。



④「画像⑤」1のバーを動かして、2「アクティブスクリプト」ツリーの「有効にする」をクリックします。
3「OK」をクリックします。※画像④の画面に戻りましたら「OK」をクリックして設定画面を閉じます。



⑤「画像⑥」の1「このサイトの~~」をクリックします。



⑥「画像⑦」ログイン画面が開きましたら、1ドメイン名と2ユーザーネーム、3パスワードを入力します。
※ドメイン名名称の確認方法→7/Vistaの場合「コンピューター」右クリック「プロパティ」クリック→「システムの詳細」→「ネットワークID」をクリック→「次へ」×3クリック。

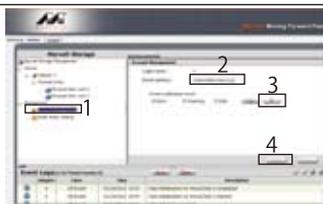


(画像⑦1ドメイン名が「画像⑧6ドメイン名」)
(画像⑦2ユーザーネームが「画像⑧5ユーザー名」)
を入力します。
「ドメイン名」と「ユーザー名」の間には「\」を入れて下さい。※例:「ドメイン名\ユーザー名」確認後、「キャンセル」をクリックして確認ウィンドウを閉じます。
3パスワードはウィンドウズにログインする際に入力するパスワードを入力してください。
※パスワードが無い場合空欄で「画像⑦4 Login」をクリックしてログインします。



画像⑨

⑦監視ソフトメイン画面です。最初に問題が起きた際に報告されるメールアドレスの設定を行います。



画像⑩

⑧「画像⑩」1の「Account Management」をクリック→「Email address」内の空白に報告メールが届く、アドレスを入力します。3「ALL」をクリック→4「Submit」をクリックして保存します。



画像⑪

⑨報告メールを送信する為にサーバーの設定をします。「画像⑪」1「Email Notify Setting」をクリックして2「Server address」右側の空白に「メール(SMTP)サーバー」のアドレスを入力します。3「Port」右側の空白に使用できるポート番号を入力します。4「SSL」メッセージを暗号化の有無を決めます。※チェックを入れるとON
5メールサーバーに登録されている「ユーザー名」を入力します。
6メールサーバーに登録されているユーザーのパスワードを入力します。
7「6」と同じパスワードを入力します。



画像⑫

⑩「画像⑫」8「Test setting」をクリックすると、サーバーの接続チェックが始まります。9「Mail setting test succeeded〜」と表示されましたら、正常に接続されている事を表しています。「Time out」又は「〜Miss〜」と表示される場合、※インターネットはつながっているか、サーバーアドレス/ポート番号/ユーザー名/パスワードが正しいか確認して下さい。



画像⑬

⑪「⑩」の「test setting」にて正常に認識しているのを確認したら、「画像⑬」10「Submit」をクリックします。

⑫「画像⑭」の「Setting updated succrssfully」と表示されましたら、セッティング完了です。



画像⑭



画像⑮

⑬「Event Logs」の「Description」内に情報が記載されていきます。ここに記載されるたびに、「⑦」に登録したアドレスに情報がメールで転送されます。※転送されるメールの送信者は「⑨/⑩」で設定したユーザー名で送られてきます。

※メール機能を使用するには、別のパソコンで、「送信 / 受信サーバー」設定されている事が前提となります。設定されていない場合使用できません。※ご利用されているサーバーのセキュリティによっては使用出来ない場合がございます為、本件でお問い合わせ頂きましたら対応出来ない場合がございます。

フォーマット方法【Windows 8】

(※フォーマットが必要な際にご確認下さい。)
(※フォーマットを行うとディスク内のデータは消去されます。)



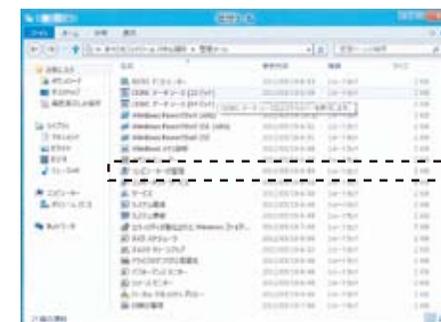
STEP1
スタート画面のフリースペースを右クリックして頂くと画面下より「すべてのアプリ」が表示されますのでクリックして下さい。



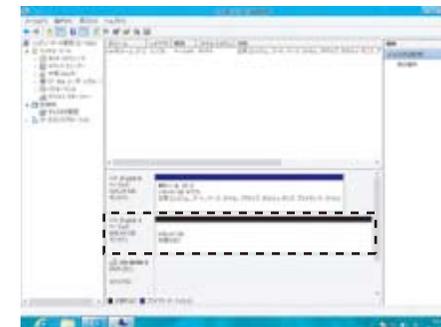
STEP2
表示の中より「コントロールパネル」をクリックして下さい。



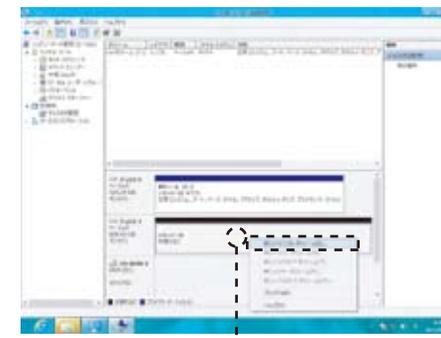
STEP3
表示方法を小さいアイコンにして頂き、「管理ツール」をクリックして下さい。



STEP4
表示された管理ツールの中より「コンピューターの管理」をクリックして下さい。



STEP5
画面左のツリー表示の中よりディスクの管理をお選び下さい。そうしますと、接続されている HDD/SSD が表示されます。



STEP6
未割り当ての領域を右クリックして頂くと新しいシンプルボリュームが選択できます。後は表示される手順にそって作業して頂く事で完了となります。

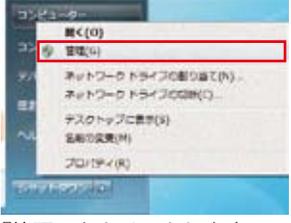
--- 右クリック。

1



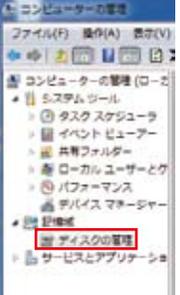
Windows 画面左下の『Windows』マークをクリックし『マイコンピュータ』を右クリックして下さい。

2



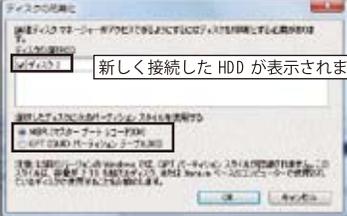
『管理』をクリックします。

3



コンピュータの管理画面が開きますので『ディスクの管理』をクリックします。

4



新しく接続した HDD が表示されます。

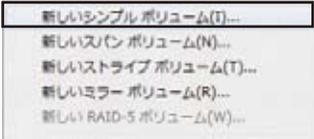
初期化されていない HDD を接続された場合『ディスクの初期化』の画面が表示されますので 3TB 以上の HDD をご利用の場合は GPT を選択して OK をクリックします。2TB までは MBR を選択します。

5



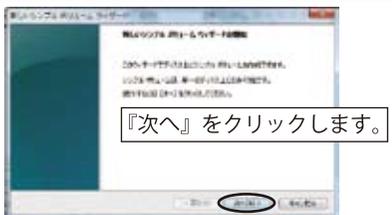
マウスポインタを該当 HDD の部分で右クリックします。

6



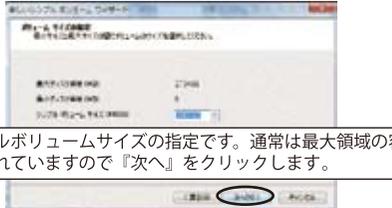
ポップアップしたウィンドウから『新しいシンプルボリューム』を選択します。

7



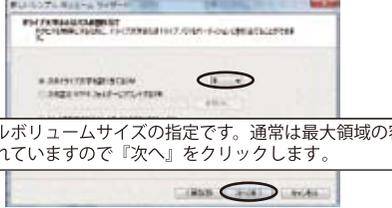
『次へ』をクリックします。

8



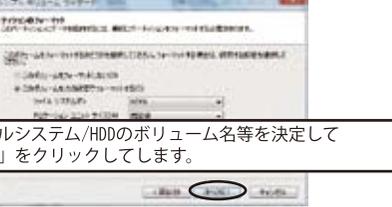
シンプルボリュームサイズの指定です。通常は最大領域の容量が表示されていますので『次へ』をクリックします。

9



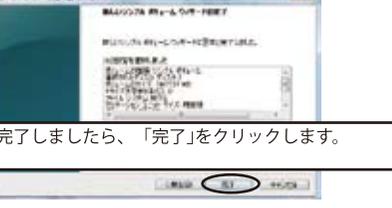
シンプルボリュームサイズの指定です。通常は最大領域の容量が表示されていますので『次へ』をクリックします。

10



ファイルシステム/HDDのボリューム名等を決定して『次へ』をクリックしてします。

11



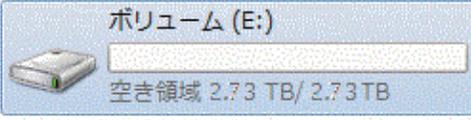
設定が完了しましたら、「完了」をクリックします。

12



フォーマット中となりフォーマット完了後はボリューム等で表示されます。

13



『マイコンピュータ』内にも下記のような形で表示されます。

以上でフォーマット完了です。